

地域とともにある学校づくり

# 品川コミュニティ・スクール通信 VOL.13

中学校・義務教育学校後期課程における 学校支援地域本部事業

# 生徒の「自立」に向けて

令和4年7月15日発行

品川コミュニティ・スクールが全校導入になって4年が経ちました。

おかげさまで、多様な学校支援地域本部事業が展開され、多くの皆様にご参加いただく体制が整って参りました。

一方、中学校・義務教育学校後期課程における学校支援地域本部の役割や活動については、「自立」に向けたステージで何が期待されているのか、分かりづらい面があるようです。 そこで、本号では、中学校・義務教育学校後期課程における学校支援本部事業としてどのようなことができるかを考えるヒントとして、各校で行われている活動をご紹介いたします。



# 学びの「場」の提供

区内の全学校では、学校支援地域本部事業のひとつとして、放課後や長期休暇中の「学びの場」として「品川地域未来塾」を実施しています。中学校・義務教育学校後期課程においては、指導員が待機している静かな環境で、各々が必要と考える学習に取り組む「自学自習」のスタイルで実施している学校が多いようです。



指導は、大学生、地域住民、講師などの方々が担っています。教員とは違う立場の方々との交流も、地域未来塾の魅力です。(鈴ケ森中学校の地域未来塾の様子)

参加している生徒達からは、

「分からないことをその場で聞ける」 「ここでは集中して取り組める」と いった感想があり、肯定的に参加してい る様子がアンケートからも見て取れます。

指導員とのたわいもない雑談などの交流を通して、安心できる「居場所」としての役割も期待されています。

また、地域未来塾の他にも、高校受験 面接対策を実施するなど、様々な学びの 場を提供しています。



# 将来を考える「場」や 多様な「人」との出会い

7年生から9年生において、自分の将来を考えることは、進路を考える上でも大変重要です。そこで、キャリア教育の一環として、以下のような体験や交流を目的とした授業が多くの学校で行われています。

趣旨に賛同してご協力いただく講師の 方々や企業・事業所の皆様との連絡・調整、 新規開拓を学校支援地域本部が担うことが 多く、地域との連携力を発揮し、教員の働 き方会改革にも寄与しています。

#### 【職場体験・職場訪問受け入れ事業所開拓】

**▲**----

生徒達が、地域社会の様々な企業・事業所などの職場に伺い、実際に働くことを体験させていただき、将来を考えるきっかけとなる学習活動です。コロナ禍では中止していましたが、今年度は実施を予定している学校が多いようです。



地域を知る学校地域コーディネーターを中心に、お引き受けいただける事業所を探し、キャリア教育を推し進めています。 (昨年行った戸越台中学校での職場体験の様子)

#### 【ドリームジョブ】

**\*---**

多様な社会人の方々から、「仕事」 「職業」「生き方」「中学校時代」のこ となどについてのお話を伺い、将来を考 えるきっかけとする学習活動です。



講師の中学校時代の様子やその後の人生を伺うことで、 自分自身の将来を前向きにとらえるようになるようです。 (伊藤学園でのドリームジョブの様子)



### 生徒が活躍できる「場」の提供

中学校・義務教育学校後期課程では、生 徒たちの「自立」が大きな目標にあります。 地域に貢献する機会をもつことで、感謝 される体験をし、生徒達は、「自分でも社 会に役に立てることがあるのだ」「自分自身に自 自分のままでよいのだ」と自分自身に自信 をもてるようになり、「自己有用感」や 「自己肯定感」が高まるといわれています。 そのような場を創出し、提供することも 学校支援地域本部事業の大きな役割です。



地域に貢献する体験は、将来の地域を支える人材育成の上でも有意義 な活動です。(浜川中学校のボランティア推進部の活動の様子)

#### Shinagawa Community School

# 専門家との出会いの「場」の提供

専門家や企業による出前授業、プロの 方々による部活動指導や体験授業。

専門的な出会いを通して、「あのようになりたい!」「もっと深く知りたい!」「成長できて楽しい!」と感じる機会を作ることで、ロールモデルや人生の目標を見付け、これからの人生を生きる上でのヒントを得ます。





「本物」との出会いが、その後の人生を変えることもあります。 (東海中学校、品川学園での授業の様子)



# 気持ちよく学べる環境づくり

その他、生徒達が気持ちよく学校生活に 臨めるよう、環境を整える活動にも取り組 んでいます。



制服のリユースに取り組む 荏原平塚学園



様々な学校の活動に積極的に 活動した生徒2名を「校区教 育協働委員会賞」として表彰 した大崎中学校

このように、「これからの社会で生きていくために役立つ学びを学校で得ている」ということを生徒自身が実感できる「場」の提供が、中学校・義務教育学校後期課程の学校支援地域本部の役割といえます。

どのような資質を育むのかという目標を 共有し、そのために必要なことを学校と地 域が連携・協働して取り組んでいきます。

### 発行・問い合わせ

## 品川区教育委員会事務局 指導課学校地域連携係

〒140-8715 東京都品川区広町2-1-36 TEL. 03-5742-6595 品川コミュニティ・スクールに ついて、ホームページで詳細を ご紹介しています。



